

# あなん

市議会だより



市議会6月定例会から

○令和7年度一般会計補正予算  
4億5,090万円を可決



阿南市議会 HP  
2次元コード

編集：議会だより編集委員会

発行：阿南市議会 〒774-8501 徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3

TEL 0884-22-3399 FAX 0884-22-9225

E-mail gikai@anan.i-tokushima.jp



6月定例会のようす

## 6月定例会の概要

6月定例会は6月2日から20日までの19日間の会期で開きました。  
 今議会では、専決処分の承認議案3件、条例の制定議案1件、条例の一部改正議案4件、条例の廃止議案1件、補正予算議案3件、人事議案4件の計16件の市長提出議案と議員提出議案1件、請願1件を審議しました。その結果、市長提出議案はいずれも原案のとおり承認、可決、同意とし、議員提出議案は可決、請願は採択と決定しました。

## 6月定例会日程

(会期19日間)

- 2日(月) 開会  
会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 会議録署名議員の指名、一般質問
- 12日(木) 一般質問  
議案質疑、委員会付託
- 13日(金) 産業建設委員会
- 16日(月) 文教厚生委員会
- 17日(火) 総務委員会
- 20日(金) 閉会  
各常任委員長報告、質疑、討論、採決、人事議案の提案理由の説明、採決、議員提出議案の採決、閉会中の継続調査

## 福谷美樹夫議員 逝去

謹んで御冥福を  
お祈りいたします

平成29年11月から2期連続で市議会議員として御活躍してこられた福谷美樹夫議員(69歳)が令和7年7月3日逝去されました。

議員在職中は、文教厚生委員会委員長、総務委員会委員長、産業経済委員会委員長、決算審査特別委員会副委員長、総務委員会副委員長、行財政改革特別委員会の運営に関する調査特別委員会副委員長、阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会副委員長を務められましたなど、市政発展に御尽力くださいました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。



永年勤続表彰

- 全国市議会議長会から  
25年以上特別表彰  
久米 良久 議員  
山崎 雅史 議員  
佐々木 志満子 議員

- 20年以上特別表彰  
小野 毅 議員

- 15年以上一般表彰  
平山 正光 議員

- 四国市議会議長会から  
20年以上特別表彰  
小野 毅 議員

- 正副議長3年以上  
一般表彰  
藤本 圭 議員

同意した人事議案

- 教育委員会教育長  
坂本 和裕 (才見町)

- 教育委員会委員  
里美文子 (富岡町)

一般質問を行った議員

- 代表質問(75分)3人  
金久 博

- (あなん至誠会)  
福島 民雄

- (みらい阿南)  
橋本 幸子

- 個人質問(60分)8人

- 西川 達也
- 久米 良久
- 渡部 友子
- 奥田 勇吾
- 下川 将吾
- 星加 美保
- 水谷 あゆみ
- 武田 光普

一般質問ダイジェスト

財政

**Q** 阿南市「新行財政改革」推進プランの期間中には、阿南中央図書館の新設、那賀川社会福祉会館の整備など、多くの財源が必要となるため、選挙公約の見直しや延期をして財源を確保する考えはあるのか。

**A** 本格化する人口減少や長引く物価高騰など、本市を取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、市民の生活を将来にわたり持続可能なものとするためには、これらの課題に臆することなく必要な事業については積極果敢に取り組んでいく。

そこで、市民の幸せをカタチにするためのあらゆる施策については新たな総合計画の6つの基本政策に基づき計画的に実施することとし、避難所の環境改善や小学校施設照明器具のLED化などの喫緊の課題についてはスピード感をもって対応することにも、

長年の懸案であった阿南中央図書館の建設や那賀川複合施設の整備についても事業化を図ったところである。

これら、一つひとつの重点事業を着実に実施するために、新総合計画の推進エンジンとして、新行革プランを策定しており、人件費や施設管理費の見直しなど、歳入歳出のバランスの取れた財政構造の実現に向け、数値目標を示したうえで、全庁一丸となって取り組んでいるところである。

令和7年度当初予算においては、過去最大の予算規模ではあるが、歳入面においては、後年度に地方交付税措置を得られる有利な起債やふるさと納税の積極的な活用により、所要一般財源の低減化を図るなど、創意工夫により、大幅な収支改善を実現している。

また、令和6年度決算見込みでの、持続可能性の重要な尺度である収支バランスを示す財政調整基金の現金残高や市債残高も、適切にコントロールできていることから、

特段、公約の見直しや延期を行う予定はない。

今後においても、市民との約束を果たすべく、積極行政と行財政改革を一体的に進めていきたい。

**Q** 阿南市「新行財政改革」推進プランの「阿南市の持続可能な行財政運営に向けて」を実現するために、財源シミュレーションを含めた中長期を見据えた阿南市行財政改革プランを策定し、説明すべきでは。

**A** 令和7年3月に策定した、阿南市「新行財政改革」推進プラン2025▼2028は、阿南市総合計画2025▼2028と一体的に推進するため、計画期間を揃え、今後、4年間を対象とした計画としている。

策定にあたり、中長期的な財政シミュレーションについては、今後の社会情勢や経済動向に多くの不確定要素があるため、令和5年度を起点として令和10年度までの期間で歳入歳出ともに中期的な財政見通しに基づき、当初予算での財政調整基金の取崩し額、

すなわち財政収支の試算を行ったところである。

また、本市では初めて、新改革プランの成果を検証するための指標の一つとして、当初予算編成における財政調整基金の取崩し額を「令和10年度で10億円未満」とする数値目標を設定している。

さらに、3月定例会での議論を踏まえ、本月初の取り組みとして、財政中期見通しの各年度目安について、「当初予算編成における財政調整基金の取崩し額一及び「実質公債費比率」の2つの数値における、令和5年度から令和10年度にかけての各年度の実績と今後の目安を新行革プランに明記し、市のホームページでも広く周知している。

このような数値目標の達成に向け、早速、令和7年度当初予算においても、歳入歳出の両面での創意工夫により、財政調整基金繰入金は、令和6年度当初予算の25億6200万円から令和7年度当初予算では17億7460万円へ約8億円に及ぶ大幅な削減を実現したところである。これは、新改革プランの改革の柱の一つである財政健全化、すなわ

ち歳入歳出のバランスが取れた財政構造の実現に向けた第一歩となるものである。

今後、新改革プランによる不断の行財政改革の理念のもと、各年度の収支バランスを基準に、経常的な歳出の抑制や各事業の在り方の見直しを継続的に進めることで、持続可能な行財政運営の進化へとつなげていく。

## 自主防災組織

**Q** 自主防災組織の活動強化に向けて、今後の取り組みをどのように考えているのか。

**A** 自主防災組織については、災害対策基本法において、隣保協働の精神に基づく自発的な防災組織であり、地域の防災を確保する共助の中核、また、地域の防災の要として、その充

実が求められる。現在、阿南市自主防災組織連合会の下、各地域の自主防災組織が令和7年4月現在、237組織であり、平時には防災訓練や防災知識の啓発、資機材等の共同購入等を行い、災害時には、初期消火や避難誘導、負傷者の救出・救護等を行うこととなっている。

自主防災組織の活動を活性化させるためには、地域住民の意識の向上や参加の促進、組織間の連携強化が必要であ



自主防災組織の活動(椿町自主防災会の防災訓練)

ると考えている。

具体的な対策としては、各地域における定期的な防災訓練や研修の実施、警察や消防といった防災機関や医療機関等との連携強化、さらには地元の事情に詳しく定期的に活動できる防災士等の適切なリーダーの選任などが挙げられる。

今後においては、これらの取り組みがより一層図られるよう、各種団体との定期的かつ実践的な協議を行うとともに、阿南市防災士の会との連携を強化することにより、地域住民の防災意識を高め、ひいては、自主防災組織の活動を活性化させ、市域全体の防災力強化につなげていきたい。

## 打樋川排水機場

**Q** 打樋川排水機場は、富岡、見能林、津乃峰地区の浸



打樋川排水機場(津乃峰町長浜)

水被害軽減のため重要な施設である。打樋川排水機場の耐震化と大雨等による浸水被害対策の必要性をどのように捉え、県とどのように連携をして対策を講じていくのか。

**A** 近年、異常気象による豪雨や甚大な被害が生じる災害の中で、排水機場等の河川管理施設の重要度は日々増している。

打樋川排水機場は、二級河川打樋川の最下流に県が設置し、管理している排水施設で

あり、富岡地区、見能林地区の浸水被害対策においては非常に重要な施設であると認識している。

このため、県では、平成25年度に打樋川排水機場の水門の耐震化を完了させており、現在は長寿命化計画に基づき、打樋川排水機場等を含めた県内排水機場などの老朽化対策を計画的に実施していることに加え、計画規模を上回る降雨による河川の氾濫を想定し、排水機場が浸水してもポンプが稼働できるように、機器等の高所設置化、施設の水密構造化などの対策を実施していると聞いている。

県下最大規模とされる排水能力を有する打樋川排水機場の機能を最大限発揮するために、今後においても、県、市及び管理業務を委託している阿南東部土地改良区が相互に連携協力し、迅速な対応ができるよう、常日頃から施設の適正な維持管理と運転操作により、浸水被害軽減に努めるとともに、市民が安全・安心を実感できるよう、防災・減災対策に全力で取り組んでいく。

## 東西幹線道路

**Q** 那賀川堤防道路を改良しながら東西幹線道路として事業が進められているが、

「本市経済を支える環状ルート」をイメージしたバイパス道路」として、また、「南海トラフ巨大地震発生時の避難初期における死者数減対策」として、「命の道・東西幹線道路建設要望」を引き続き国・県・関係機関に届けてほしいと考えているが、市の見解は。

**A** 今年度中の供用が予定されている徳島南部自動車

道阿南インターチェンジと一般国道55号阿南道路とを結び県道富岡港南島線、都市計画道路下大野南島線などのラインを東西幹線道路として位置づけ、阿南市高規格道路等建設促進期同盟会による要望活動等において、早期整備を図るよう、国、県に対し、これまでにも繰り返し要望を行ってきたところである。

当該道路については、今後



整備が進む県道富岡港南島線（JR アンダーパス西側）

における本市の経済活動を支えるための幹線道路として非常に重要であり、また、現在、国において工事が進められている阿南安芸自動車道及び阿南道路と組み合わせた環状ルートが形成されることにより、より一層地域経済の発展に向けた相乗効果が期

**A** 道の駅公

**Q** 道の駅公

## 道の駅公方の郷なか

待できると考えている。また、併せて大規模自然災害時における命の道としても大変大きな役割を果たす路線であると認識をしている。

今後、引き続き一般国道55号阿南道路と阿南インターチェンジを結び東西幹線道路、県道富岡港南島線、都市計画道路下大野南島線の重要性、早期整備の必要性を国や県に對して強く訴えていく。



パーゴラ等除却、フェンス改修工事中の道の駅公方の郷なか

提案制度による、公共施設の有効活用を図る提案に基づき実施しているものであり、同施設にさらなる人を呼び込み、本市の農業振興や地域の発展に資することを目的としている。

本市が行う改修工事は、パーゴラの撤去やフェンスの改修をはじめ、主棟の物産館への看板設置、陳列棚の見直しなどを行う。また、東とくしま農業協同組合が行う改修工事は、農産物直売所や事務所を備えた施設の増築が予定

されている。これらの改修工事を着実に進めることにより、来場者の利便性の向上や施設の魅力アップを図り、滞在時間の延長やリピート利用の促進につながるものと考えている。

また、改修工事完了後には、本市が運営する物産館や東とくしま農業協同組合が運営する直売所、さらには、特定非営利活動法人たんぼの飲食コーナーにおいて、来場者数や売上高の増加を見込んでいく。今回のリニューアルによって、地元農産物や特産品の販路拡大、近隣事業者との連携強化を通じた地域経済への波及効果、さらには雇用の拡大にも期待している。

## JR牟岐線阿南駅以南の存続

**Q** JR牟岐線阿南駅以南の存続について、本市は、どのような取り組みをしているのか。

**A** 市長就任後の取り組みについて、JR四国では、持続可能な鉄道網の確立に向け、徹底的な検討を行うため



阿南駅を出発して阿波海南方面へ向かう汽車

担当室長が出席し、JR四国の現状や国の動向、他自治体での利用促進の取組事例について説明を受けるとともに、本市の実情や利用促進のための取り組みなどを説明し、情報共有を行うとともに、学生の通学手段の確保や観光施策との連携等についても意見交換を行うなど、阿南駅以南の存続を熱望する地域の声を直接伝える貴重な場となった。

人口減少が進む中、これまで以上に国の支援が必要であると認識していることから、沿線自治体が協力し、存続を望む熱意を国に届けることは重要と考えている。

こうしたことから、今後は、県南1市4町で連携を密にし、国に対し、阿南駅以南の存続に向けた要望を行っていく。

## 新野公民館の整備

**Q** 新野公民館について、地域や時代に合った複合施設

設としての整備が望まれるが、今後の整備方針は。

**A** 現在の新野公民館は、平成10年に新野町農業振興センターに増築する形で建てられた施設であり、主要な構造や設備等を新野町農業振興センターと共有している。この新野町農業振興センターは、昭和55年にJAとの複合施設として建設されて以来45年の年月が経過しており、また、設備機器の不具合や雨漏りなど、施設の老朽化が顕在化し、既にJAも施設から撤退しているなどの事情からも施設更新の必要性が生じていることについては、認識をしている。

こうしたことから、新野地区の中心となる複合型施設のあり方については、関係課と同地区の公共施設の現状や問題点などを共有し、施設を目指すべき方向性

や必要な機能など、意見交換を行ってきた。今後においても、関係課との連携を図りながら、継続して協議を進めていく。

## 新図書館周辺の雨水対策

**Q** 新図書館の建設予定地である富岡町北通周辺の大雨時の排水対策をどのように



新図書館の建設予定地

考えているのか。

**A** 新図書館建設予定地である富岡町北通周辺については、大雨の際に浸水被害が生じており、この点に関し、市議会本会議や委員会において様々な意見や提言があり、これを非常に重く受け止めている。

このことを踏まえて、関係部署が会し、大雨時の雨水対策について協議を行い、建設予定地からの雨水流出を抑制するための屋外整備の検討を行うとともに、併せて、今後とも関係機関と連携しながら効果的な治水対策を検討することとし、今年3月に策定した「阿南中央図書館（仮称）整備計画」においても、「建設予定地周辺の治水対策」として明記したところである。

大雨時の雨水対策における具体的な工法・手法については、現在、新図書館整備に向け、阿南中央図書館（仮称）建設工事設計業務の公募を実施しているところであり、今後、設計業務受注者からの提案、設計協議を通じて、効果的な対策となるよう事業者とともに検討を行っていく。

## 保育行政

**Q** 羽ノ浦地区での保育施設の今後の在り方をどう考えているのか。また、老朽化している羽ノ浦くるみ保育所については、いつまで保育事業を続けていくのか。

**A** 羽ノ浦地区における保育施設の在り方と計画について、公立保育所の老朽化に伴う施設整備を「羽ノ浦地区施設整備計画」により、公立と私立の両面から進め、令和5年4月にエクセレント羽ノ



羽ノ浦くるみ保育所

浦こども園が開園し、羽ノ浦さくら保育所は令和5年度末をもって閉園した。

今後においては、令和7年3月に策定した「阿南市教育保育施設整備実施計画」に基づき、阿南市全体で各施設の抱える課題や人口推移を踏まえ、施設整備に取り組んでいく。

羽ノ浦地区における人口減少は、比較的緩やかではあるが、将来人口推計に基づく将来の見通しを踏まえると、現状において、教育・保育施設は充足しているものと考えている。また、令和8年度に向けて、エクセレント羽ノ浦こども園の利用定員の増加が見込まれている。

羽ノ浦くるみ保育所の整備については、年次計画の中で、令和17年度から令和21年度までの後期となつているが、建築後、年数も経過していることから、近隣施設の入所状況も踏まえながら、今年度を起点とする5年ごとの見直し期間を捉え、随時検討していく。

## こども家庭センター

**Q** こども家庭センター開設後の母子保健・児童福祉の相談件数は。また、障がい児を持つ家庭や虐待の悩み相談など多様な相談の解決やサポートを進めるため、関係機関との情報共有をどのように進めているか。また、運営上の課題は。

**A** こども家庭センター開設後の相談等の状況であるが、妊娠届をはじめとする出産、育児に関わる相談や児童の虐待、養育に関する相談を受けている。件数については、5月末までの実績として、妊娠届が68件、妊娠、出産、育児に関する相談が26件、予約制の発達相談が45件、来所、電話による児童に関する相談が117件となっている。

次に、関係機



こども家庭センター（市役所本庁舎2階）

関との情報共有について、母子保健では、阿南医療センターをはじめとする各医療機関と、主に妊産婦に関する情報連携を図っている。また児童福祉では、子どもの虐待や養育に関する相談について、要保護児童対策地域協議会の構成機関でもある徳島県南部こども女性相談センターや児童養護施設、医療・療育、教育・保育の各関係機関と連携し、必要に応じてケース会議の開催など、それぞれの事案に対応している。

次に、現時点での運営上の課題について、母子保健事業はこれまで保健センターが担ってきたことから、こども家庭センターの設置により、市役所本庁舎で各種手続や相談事業を実施することについて、市民への丁寧な周知に努めていきたい。

同時に、母子保健と児童福祉が一体となったセンター機能を生かし、妊産婦や乳幼児の健康管理から児童虐待の予防や対応まで、幅広い支援を切れ目なく提供できるよう取り組みを進めるとともに、こども家庭センターが妊産婦や子育て世帯を応援するワンストップの相談窓口として身近で気軽に利用できる存在となるよう努めていきたい。

## 史跡若杉山辰砂採掘遺跡

**Q** 大阪・関西万博での辰砂鉱石展示を契機として、本市の観光振興、地域活性化にどのようにつなげていくか。

**A** 史跡若杉山辰砂採掘遺跡が令和元年に国の史跡に



大阪・関西万博会場にて展示された史跡若杉山辰砂鉱石

指定されて以降、継続的に調査研究を進めており、昨年の発掘調査成果で日本最古の「火入れ法採掘導入遺跡」であることが判明し、全国的に報道されたところである。現在、開催されている大阪・関西万博2025では、関西パビリオン内の徳島県ゾーンにおいて、辰砂鉱石が展示されたことにより、史跡の認知度・注目度はさらに高まってきているものと実感している。

そこで、令和7年度から5カ年計画で阿南市史跡若杉山

辰砂採掘遺跡活用整備事業を本格的に実施していく。現在の史跡は、厳しい立地条件から、見学等での史跡内の立入りは制限しているが、全体整備の完了を待つことなく、整備が整った箇所から随時史跡を開放し、安全に見学が行えるよう事業を進めていきたい。史跡内への立入りが可能となれば、世界各国の歴史ファンが若杉山辰砂採掘遺跡を目的に本市を訪れることが期待されることである。

また、ソフト面での整備として、SNSなどのソーシャルメディアの新たな活用やポランテアガイドの新規育成などを並行して進めていきたい。

今後は、史跡若杉山辰砂採掘遺跡を本県初となる特別史跡、いわゆる遺跡の国宝クラスへの格上げを目指し、庁内一丸となり、さらに文化庁、徳島県とも十分に協議を重ね、本市の観光振興・地域活

性化につなげることはもとより、同時に史跡の本質的価値を損なわないよう慎重に進めていく。

万博が終了し、貸し出していた辰砂鉱石が返却された後は、より多くの市民の方々が観覧できるよう、市役所本庁舎内での展示を計画している。

## 放課後児童クラブ

**Q** 放課後児童クラブの現時点における民間事業者への移行状況、今後の見通しはどのようなになっているか。

**A** 現時点における民間事業者への移行状況については、

昨年8月から、見能林児童クラブをモデルケースとして、運営主体を保護者役員が運営する委

員会から民間事業者へ移行している。保護者へのアンケート結果からは、民間事業者へ移行したことにより、月7日以下の短期利用の設定や毎週土曜日開所等、開所時間やサービス内容がより充実されただけでなく、子どもや保護者に、非常に丁寧な対応がされており、「子どもの様子が変わった、友達の輪が広がり、親としてもうれしく思う。」等の意見があり、高評価を得



運営主体を民間事業者へ移行した見能林児童クラブ

ている。

次に、他の地域における今後の放課後児童クラブの民間事業者への移行の見通しについて、橘、岩脇、桑野、中野島第二の4つの放課後児童クラブについて、現在、プロポーザル方式による民間事業者選定への参加者を公募しており、今年8月1日からの民間事業者による放課後児童クラブの運営を目指している。

今後においても、各放課後児童クラブの運営状況を精査しながら、要望のある放課後児童クラブに対して順次民間事業者への運営移行を進め、民間事業者のノウハウを活かしながら、共働き世帯や不規則勤務の保護者の負担軽減を図り、子ども一人ひとりの状況を細かく把握し、目が行き届くケアを実施することで、安心できる子育て環境の提供に努めていく。

## 学校給食

**Q** 南部学校給食センターでは、学校給食調理業務の民間委託が開始されているが、民間委託の状況をどう評価しているのか。また、今後

の展開は。

**A** 阿南市「新行財政改革」推進プラン2025▼2028の重点項目の一つとして学校給食調理業務の民間委託を掲げており、その取り組みの一環として、南部学校給食センターは、令和5年4月から調理業務の民間委託を開始している。

これまでの運用においては大きなトラブルもなく、安全性・衛生面ともに一定の水準が確保されており、安定的な給食の提供がされていると認識している。

また、民間事業者による体制整備もしっかりとされており、現場からの指導や改善要請に対しても迅速かつ柔軟に対応していることから、安定的な運営が実施できていると考えている。

さらに、児童



第一学校給食センター

生徒、教職員、保護者を対象とした学校給食アンケートの結果においても、直営方式と民間方式の間に大きな差は見られず、いずれもおおむね良好な結果を得ている。こうした点からも、現時点での民間委託の効果は評価できるものと受け止めている。

現在、円滑な移行に向けた準備を進めている。今後も、民間の力を効果的に取り入れながら、子どもたちにとって安全でおいしい、質の高い学校給食の安定的な提供を最優先に考えて取り組んでいく。

## 9月定例会の予定

- 9月2日(火) 開会
- 9月10日(水) 一般質問
- 9月11日(木) 一般質問
- 9月12日(金) 一般質問・議案質疑
- 9月16日(火) 委員会
- 9月17日(水) 委員会
- 9月19日(金) 委員会
- 9月25日(木) 採決・閉会

日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
☎ 22-13309

## 訂正

「あなん市議会だより」第174号(令和7年5月発行)の掲載内容に誤りがありました。

- 5ページ、一般質問ダイジェスト、下段
  - 【誤】 債権過剰購入 債権運用指針
  - 【正】 債券過剰購入 債券運用指針
- 訂正しておわびします。



## 本会議・委員会の生中継・録画映像をスマートフォン等でご覧いただけます

本会議・委員会のインターネットによる生中継・録画映像配信を行っております。

令和7年3月定例会から、委員会のインターネット生中継・録画映像配信を開始しました。(対象の委員会は、産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会及び付託議案のある議会運営委員会となります。)

パソコン、スマートフォン等で本会議・委員会の生中継・録画映像配信を視聴することができます。

生中継・録画映像配信は阿南市議会のホームページもしくは[下記2次元コード\(左\)](#)からご覧いただけます。

また、ケーブルテレビでも本会議の様子を生放送しています。放送時間は午前10時から本会議終了までです。



議会映像インターネット配信アドレス  
<https://anan.media-streaming.jp/>

議会映像インターネット配信  
2次元コード



インターネット委員会映像配信  
についてのアンケートを実施し  
ていますのでご協力ください▶

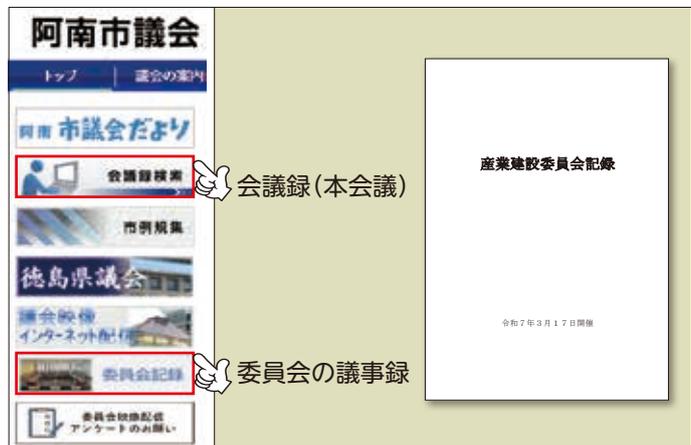
映像配信についてのアンケート 2次元コード



## 会議録の閲覧ができます

定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

- ①製本会議録を閲覧する方法  
市内図書館に製本会議録を配本しています。
- ②インターネットで閲覧する方法  
阿南市議会ホームページ→会議録検索を選択すると閲覧することができます。



## 委員会の議事録をホームページに公開しています

委員会の議事録を市議会ホームページからご覧いただけます。閲覧が可能な委員会は次の委員会です。

**常任委員会** 産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会  
付託議案のある議会運営委員会

**特別委員会** 決算審査特別委員会、行財政改革調査特別委員会  
まちづくり調査特別委員会、阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会

阿南市議会ホームページアドレス  
<https://www.city.anan.tokushima.jp/gikai/>

阿南市議会 HP  
2次元コード



## 定例会提出議案の閲覧ができます

令和6年6月定例会から阿南市議会定例会提出議案をご覧いただけます。

## 常任委員会での審査

6月定例会において各常任委員会では、付託された議案等の審査を行いました。  
以下審査の過程で出された主な質疑、意見等の内容を報告します。

### 産業建設委員会

#### 市長提出議案3件を審査

◇阿南市空家等対策の推進に関する条例の制定について、隣接する空家による災害時の被害を相談できる窓口設置が必要であるとの意見があった。また、全国で空家を活用して地域を活性化し、移住者の呼び込みや催しを実施しているように、人口増につながるような市独自の取り組みを考えてほしいとの意見があった。



産業建設委員会のような様子

### 文教厚生委員会

#### 市長提出議案7件、請願1件を審査

◇阿南市重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について、助成対象となるひとり親家庭の人数と助成額の見込みについて質疑があり、助成対象人数は概ね310人、所要額は約470万円を見込んでいるとの説明があった。

◇令和7年度阿南市学校給食事業特別会計補正予算について、歳入の内、学校給食費無償化の財源として見込んでいる保育料助成事業に係る県支助金の金額と内容について質疑があり、県が実施する保育料助成事業の拡大により、0歳児から2歳児までの保育料無償化に係る約5000万円

を財源として見込んでいるとの説明があった。

◇阿南市公共図書館並びに学校図書館の運営及び図書館システムに関する請願の審査では、北欧では教育現場においてIT化が進んだものの、現在は紙の教科書への回帰も見られる。日本でも同様の動きが起こる可能性があることから、紙媒体を取り扱う地域の書店の存続は重要であるとの意見。また、図書館の整備にあたっては、導入するシステムの選定は重要であり、地元書店との連携も不可欠だと考えているが、この請願の内容については、調査研究が必要であることから、継続審査との意見。また、書店の継続は、市民の幸福度にもつながってくるものであり、地元書店を通して図書館に書籍を購入するシステムを構築する



文教厚生委員会のような様子

ことで、地域活性化の一助となるとの意見があった。

### 総務委員会

#### 市長提出議案6件を審査

◇阿南市公共用施設維持基金条例の廃止について、令和6年3月末の基金残高1700万円の使途についての質疑があり、羽ノ浦公民館の外部改修工事に1157万円、その他、科学センターの天体ドーム保守点検やサーバー機の購入等に使用したとの説明があった。これを受けて委員から、この基金が無くなった場合、同施設の修繕などに今後どのように対応するのかとの質疑があり、公共施設等適正管理推進事業債の活用をはじめ、各種補助金の活用について検討を行うなど、適切に維持管理に努めていくとの説明があった。

◇令和7年度阿南市一般会計補正予算の関係部分で、定額減税不足額給付金約2億8000万円について質疑があり、令和6年度に実施した定額減税補正調整給付に関連して実施するもので、令和6年度の

定額減税では、1人当たり最大4万円が減税され、減税額が実際の税額を上回る分について、定額減税補正調整給付金として給付を行っている。今年度については、昨年度の調整給付との間に差額が生じた場合、その不足分を追加で支給するものである。本市での対象者は約8800人、給付額を約2億8000万円と見込んでいるとの説明があった。これを受けて委員から、不足分の有無を確認する方法について質疑があり、給付事務において、できるかぎり所得や収入等を確認し、支給確認書を送付したいと考えているとの説明があった。さらに委員から、支給確認書はいつ頃発送するのかとの質疑があり、8月中旬を目途に、対象者へ送付する予定であるとの説明があった。



総務委員会のような様子

# 6月定例会議決結果一覧

## 承認議案

承認第 1号	阿南市税条例の一部を改正する条例に係る専決処分の承認について	(原案承認)
承認第 2号	阿南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に係る専決処分の承認について	(原案承認)
承認第 3号	令和6年度阿南市一般会計補正予算(第8号)に係る専決処分の承認について	(原案承認)

## 条例議案

第 1号議案	阿南市空家等対策の推進に関する条例の制定について	(原案可決)
第 2号議案	阿南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第 3号議案	阿南市重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第 4号議案	阿南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び阿南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	(原案可決)
第 5号議案	阿南市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	(原案可決)
第 6号議案	阿南市公共用施設維持基金条例の廃止について	(原案可決)

## 補正予算議案

第 7号議案	令和7年度阿南市一般会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第 8号議案	令和7年度阿南市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第 9号議案	令和7年度阿南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)

## 人事議案

第10号議案	教育委員会教育長の任命について	(原案同意)
第11号議案	教育委員会委員の任命について	(原案同意)
第12号議案	公平委員会委員の選任について	(原案同意)
第13号議案	固定資産評価員の選任について	(原案同意)

## 議員提出議案

議案第 1号	阿南市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	(原案可決)
--------	------------------------------	--------

## 請願

請願第 1号	阿南市公共図書館並びに学校図書館の運営及び図書館システムに関する請願	(採 択)
--------	------------------------------------	-------

## 本会議・委員会は公開しています

本会議、委員会はどなたでも傍聴できます。傍聴は先着順で、定員は本会議が43名のほか、車いすスペース2台分、委員会が10名のほか、車いすスペース1台分です。



阿南市議会 HP  
2次元コード



議場内の傍聴席